

# 感染症情報 3月12日～25日

## 3月12日から18日分

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1064例(堺市	47例)
②溶連菌感染症	390例(堺市	21例)
③RSウイルス感染症	113例(堺市	0例)
④突発性発疹	61例(堺市	2例)
⑤みずぼうそう	59例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 1885例(堺市 161例)

## 3月19日から25日分

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	967例(堺市	63例)
②溶連菌感染症	381例(堺市	21例)
③RSウイルス感染症	90例(堺市	2例)
④みずぼうそう	81例(堺市	1例)
⑤突発性発疹	71例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 962例(堺市 93例)

2週分まとめて、報告された。

感染症報告数は3月12日から18日までがその前週より0.6%減の1,777件で、3月19日から25日までがさらに5.8%減の1,674件であった。報告の上位3つの順位に変動はない。

インフルエンザは府下では3月12日から18日までにその前週より39%減の1,885例が報告され(堺市では234→161例の31%減)、大阪府全ブロックで警報レベル終息基準値の10.0を下回った。3月19日から25日までがさらに49%減の962例になった(堺市で161→93例、42%減)。定点当たりでは3.1であった。

麻疹、風疹の報告はなかった。